

言語観を広げる活動を 中心にした

「多言語活動・ことばの学習」活動

作成者 秦さやか

(平成 24 年度に試験的实施したものを一部改訂)

1. 単元名：「ことばって何？ ことばについて考えよう」(高学年向け)

2. ねらい：

○ことばの多様性やことばをめぐる問題に気づくことで言語意識を高める。

(言語意識・外国語活動との関連)

○伝え合う力・思考力・想像力・言語感覚を養い、ことばに対する関心を深める。

(国語と関連)

○多様なことば・人・文化を尊重する態度を育てる。**(国際理解)**

3. 身に付けさせたい力・教材観：

多言語・多文化社会において、ことばをめぐる問題が顕在化してきている。そのような中、言語意識やことばの多様性という視点に着目し、将来的にことばの問題を解決できる児童の育成を目指したい。そのため、まずはことばを多様に見る視点を形成し、ことばと自分の関係を振り返る場を設定する。また、社会において生み出される問題（多様なことばが失われている現状、強い言語：例えば英語に圧倒される事実など）にも触れる。

児童の身の回りには、外国につながる児童や保護者、地域住民もいる。その人たちの本来もっていることばにも目を向け、多様な人や文化を尊重しようとする態度が身に付くようにしたい。新井小には全国様々な地域出身の教員も多くいるため、教員のもっていることばの文化背景も、本活動に生かしていきたい。

また、この活動は、ねらいに挙げた 3 点に表されるように、国語や外国語活動、国際理解教育等とも密接に関連している。それぞれの教科・領域が目指す力をふまえた、児童にとって有効な教育活動にしていきたい。

身に付けさせたい力

- 言語のルールを見つけ出す、論理的思考力
- 言語のきまりや特徴をことばで表す、表現力
- ことばに対する興味関心と、コミュニケーション力の素地

手話のできるアシスタントを起用した

4. 活動の流れ

	学習活動内容	指導・教材等	本日の手話
1 時	「ことばって何だろう」 ・ことばのイメージを出し合う。身近にある多様なことばをめぐる問題に気づく。	ワークシートに自由にイメージを書きだす。 ・イメージマッピング。	
2 時	「ことばについて考えてみよう～ことば博士クイズ！」 ・国内外それぞれにおける言語の多様性と危機についてクイズで考える。	言語クイズ（紙芝居）：言語の数・国内言語数・言語トップ 10・危機言語の話	手話で自己紹介
3 時	「いろいろなことば・伝え方」 ・非言語的なことばについて、アクティビティ（表情・身振り・声の調子や間・文字の調子や色・）を通して伝わり方を体感する。	・「ブーバとキキ」提示。 非言語で気持ちを表現する活動。	甘い辛い
4 時	「私が大切にしたいことば」 ・自分ことばマップ（自分とことばの関係図）で自分の使っていることばを視覚化する。 ・様々なことば（非言語含む）から、自分が大切にしたいものを学級全体で出し合う。	・自分ことばマップ	勉強を始める・終わる（音を立てない手話）
5 時	「私が大切にしたいことばランキング」 ・学級全体で出し合ったものを参考に、自分が大切にしたいことばを 8 項目選ぶ。それぞれの項目を何色で表現するかも考える。	・ワークシート（8 項目を書き込み、何色にするかを書く枠）	色いろいろ
6 時	「わたしが大切にしたいことばカード作り」 ・自分が大切にしたいことばベスト 8 を、カードに書き込む。これぞれのことばをイメージする色を塗る。カードのどこにどの項目を書き込むかも考えて。	・カード（人型に切り抜く）・色鉛筆	—
7 時	「発信しよう、大切にしていきたいことば」 ・班ごとに自分のカードを紹介し合う（なぜ大切にしたいのか、色のイメージやカードのどの部分に書き込んだのか等）→全員分を模造紙に貼る ・全体発表 ・振り返り	・カード ・模造紙	驚いた時